

保険金・給付金 ご請求についての ガイドブック

1	ご請求手続きからお支払いまでの流れ	▶	1ページ
2	もれなくご請求いただくために	▶	3ページ
3	入院された場合	▶	5ページ
4	手術・放射線治療を受けられた場合	▶	7ページ
5	通院された場合	▶	9ページ
6	約款に定める重度疾病に罹患された場合	▶	11ページ
7	ガン・急性心筋梗塞・脳卒中になられた場合	▶	12ページ
8	ガンになられた場合	▶	13ページ
9	抗ガン剤治療を受けられた場合	▶	13ページ
10	先進医療による療養を受けられた場合	▶	14ページ
11	約款に定める要介護状態になられた場合	▶	14ページ
	指定代理請求特約について／高度障害保険金(給付金)について	▶	15ページ
	告知義務違反による契約解除と保険金・給付金のお支払いについて 保険金・給付金の請求に関するQ & A	▶	16ページ
	入院給付金請求用チェックシートご請求書類を提出される前にご確認下さい	▶	17ページ
	災害通院給付金請求用チェックシートご請求書類を提出される前にご確認下さい	▶	18ページ

マニュライフ生命保険株式会社

〒163-1430 東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
東京オペラシティタワー30階

コールセンター **0120-063-730**

受付時間／月～金 9:00～17:00 (祝日・12/30～1/3を除く)

www.manulife.co.jp

●担当は

このガイドブックの目的

この冊子は、弊社の生命保険に加入されているお客様が、保険金・給付金のご請求・お受取りにあたって、知っておいていただきたい基本的なことをまとめたものです。

お客様に万一のことがあったとき、ご入院等をされたときに、ご請求の手引きとしてお役に立てれば、と思っております。

ただし、あくまでも基本的なことをまとめたものでございますので、この冊子をご覧になり、ご質問やご不明な点がございましたら、お気軽に弊社担当者またはコールセンターまでお問い合わせください。

マニユライフ生命保険株式会社



1

ご請求手続きからお支払いまでの流れ



お客様にしていること

1

**入院・手術のご予定が決まりましたら
弊社担当者または弊社コールセンターまでご連絡ください。**
※ お手元に保険証券、ご契約のしおり・約款をご用意ください。
お支払いの対象になるか等、ご不明な点がある場合はお問い合わせください。

手続き書類 到着

※ 医師による診断書、
その他必要な書類をご用意ください。

3

**必要な書類をご用意の上、
弊社担当者へお渡しいただくか、もしくは弊社までご返送ください。**
※ ご請求の内容により必要な書類が異なります。
診断書のほか、戸籍抄本、住民票等をご提出いただく場合もございます。

お支払いのご案内 到着 ▶ 口座へのご入金

5

給付金等の支払内容をご確認ください。
※ お支払い明細をご確認ください。
口座へのご入金日とお支払いの明細の到着日が前後することがございます。

マニユライフ生命保険株式会社 が行うこと



2

ご連絡受付
※ お客様からのご連絡時に加入しておられるご契約の保障内容を確認し、
お支払いの可能性があるすべてのご契約をご案内いたします。

手続き書類 お届け・発送

※ お手続きに必要な書類等をお届け、
もしくはお送りいたします。

4

書類を確認し、給付金等のお支払い可否について判断いたします。
※ 必要に応じて事実の確認をさせていただく場合がございます。
お支払いの決定までに必ず複数の担当者が確認いたします。

給付金等お支払い／支払い明細書発送
(お支払いのご案内)

ご請求の連絡がなくても、ご提出いただいた書類の内容に応じて次回分の請求書類をご案内しています。

ご注意

- ① ご入院の原因（疾病と災害のどちらの原因なのか）や、ご請求いただく内容（入院・手術・通院等）によって、ご請求の際に必要な書類が異なります。ご通報をいただく際には、何が原因で、何を請求されるのかを、弊社コールセンターもしくは担当者に詳しくお伝えください。
- ② ご請求をいただき、診断書等を拝見させていただいた結果、被保険者様や医療機関等に事実確認をさせていただく場合がございます。その場合は、お支払いの可否決定までに1ヶ月程度のお時間をいただくこととなりますので、ご了承くださいませようお願いいたします。
- ③ ご請求をいただき、弊社で査定させていただいた結果、ご請求の一部または全部をお支払いできないケースもございます。お客様のご契約内容やご請求内容などにより、お支払いできない理由は様々ですが、その場合は、お支払いできない理由を記載しました文書をお送りいたしますので、文書にてご確認ください。

<お問い合わせ先> マニユライフ生命コールセンター

TEL 0120-063-730

受付時間 月～金曜日 9時～17時(祝日および12月30日～1月3日を除く。)

2

もれなくご請求
いただくために



ご請求もれとなっている保険金・給付金はありませんか？
以下に記載の項目をご確認いただき、請求もれのないようご注意ください。

1 複数のご契約に加入されていませんか？

ご請求いただく保険以外に、他の保険の被保険者(保障の対象となる方)となっておられますか？

ご家族の方も保障する保険にご加入されていませんか？

被保険者となっておられる全てのご契約がご請求の対象となる可能性があります。ご本人以外の方がご契約者でもそのご契約の被保険者となられている場合があります。

家族型や複数被保険者タイプの保険の場合、主たる被保険者となっておられる方他にご家族の方も保障の対象となる保険があります。その場合は、そのご契約もご請求の対象となる可能性があります。

2 死亡保険金・給付金をご請求の場合、ご入院や手術等のご請求はないですか？

お亡くなりになる前に入院をされたり、手術を受けられたりしませんでしたか？

ご契約に入院や手術を保障する特約が付加されている場合は、そのご入院や手術もご請求の対象となる可能性があります。

3 入院中でのご請求ではないですか？

ご請求後、引き続きご入院された期間や、退院を条件に給付される特約のご請求を忘れていませんか？

入院中のご請求の場合、退院日までお支払いの対象となる可能性があります。また、退院特約や快気祝金付の特約に加入されている場合は、退院時に所定の給付金のご請求の対象となります。

4 ガン保障関連特約や成人病特約・生活習慣病入院特約・女性疾病入院特約を付加されていませんか？

ご入院の原因がガン・生活習慣病・女性疾病に該当する疾病ではないですか？

手術給付金付ガン入院特約などのガン保障関連特約や成人病特約、生活習慣病入院特約・女性疾病入院特約を付加されている場合、ご請求の対象となる可能性があります。

5 傷害特約を付加されていませんか？

不慮の事故が原因で怪我をされた際に、何らかの障害がありませんでしたか？

不慮の事故が原因で所定の障害状態になり、その障害状態の回復の見込みがない場合、障害給付金のご請求の対象となる可能性があります。

6 特定損傷特約を付加されていませんか？

不慮の事故が原因で怪我をされた際に、骨折・関節脱臼・腱の断裂はありませんでしたか？

不慮の事故が原因で骨折・関節脱臼・腱の断裂をされた場合、特定損傷給付金のご請求の対象となる可能性があります。

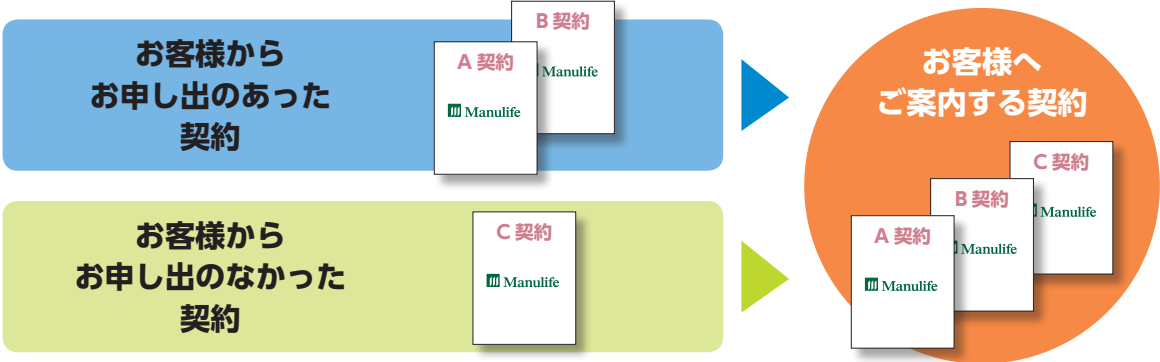
7 所定の高度障害状態または不慮の事故による障害を原因とした所定の身体障害状態ではありませんか？

疾病や不慮の事故によって、両眼の視力を失われるようなことはありませんでしたか？

両眼の視力喪失・両腕や両足の切断・喉頭全摘出を行われた場合などは、高度障害保険金や保険料払込免除の対象となる可能性があります。

ご請求のご連絡をいただいたとき

マニユライフ生命では、お客様よりお申し出いただいた証券番号をもとに、
他にご請求いただける契約がないかどうか、確認するよう努めております。



請求書類をお預かりしたとき

マニユライフ生命では、お客様よりお預かりした入院証明書等の記載内容から、
他にご請求いただける保障がないかどうか、確認するよう努めております。

お客様よりお預かりした入院証明書等の記載内容から、**今回ご請求いただいた保障以外にご請求いただける可能性のある保障が付いております場合**、別途ご請求いただくようご案内しております。

例

- 入院証明書上に、過去の入院や手術の履歴の記載がある場合
- 交通事故による入院のご請求時、事故によって両目の視力を失われたとの記載があり、高度障害保険金のお支払いの対象となる可能性のある場合

お客様よりお預かりした入院証明書等の記載内容から、**引き続きご請求いただける保障があると認められます場合は**、引き続きご請求賜りますよう必要な書類をご案内しております。

例

- 入院給付金を入院中にご請求されており、引き続き入院されている場合
- ご入院の予定がある場合
- 退院後に通院されている場合（通院特約が付加されている場合）

3

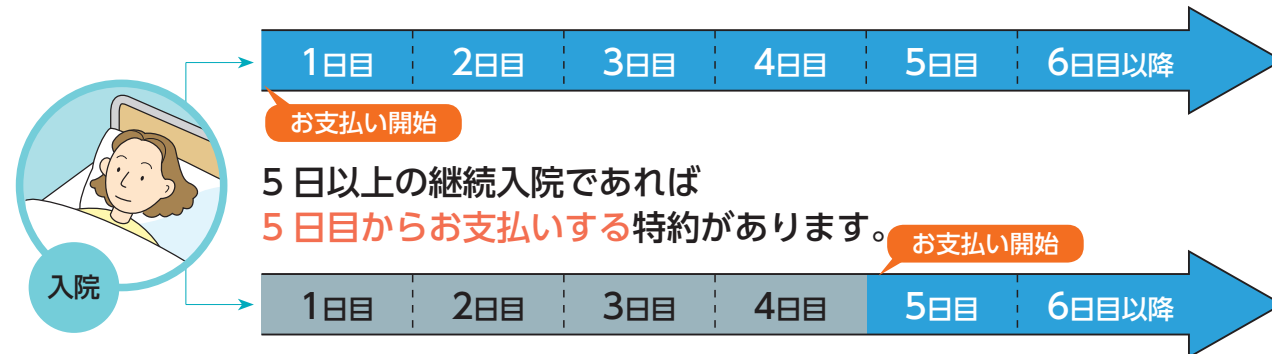
入院された場合 (疾病・災害入院給付金)

手術給付金付疾病入院特約・災害入院特約等の入院関連特約が付加されている場合に限りです。



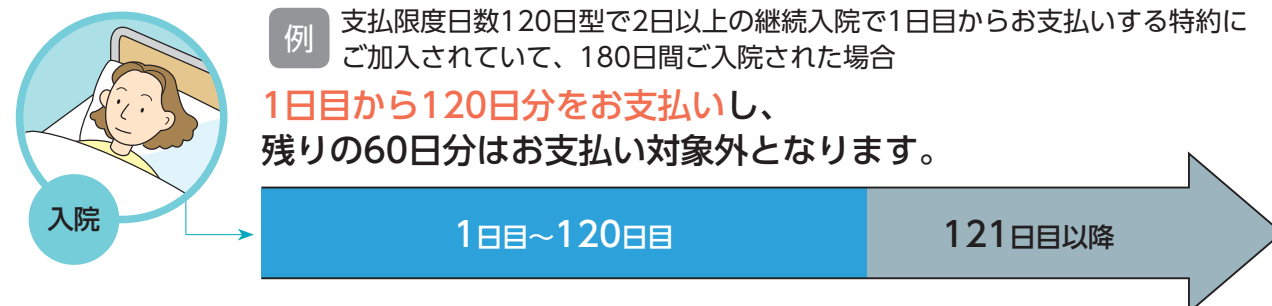
入院給付金が**何日目から支払われる特約**なのか
ご確認ください。

1日以上入院であれば**1日目からお支払い**する特約があります。



その他、2日以上継続入院で1日目からお支払い、8日以上継続入院で1日目からお支払い、20日以上継続入院で1日目からお支払い、30日以上継続入院で1日目からお支払いなどの特約があります。また、入院原因が災害と疾病の場合で日数条件が異なることがあります。

入院給付金は**1回の入院に対する支払限度日数**が
決まっています。



その他、支払限度日数30日型、60日型、360日型、1,000日型、無制限型(ガン入院)などがあります。また、ご入院の原因が約款に定める支払限度延長の対象となる疾病の場合は、疾病入院給付金の1回の入院に対する支払限度日数が倍になるご契約があります。

※支払限度延長の対象となる疾病につきましては、約款をご参照ください。

疾病入院給付金または災害入院給付金が支払われる入院中に約款に定める集中治療室管理を受けられた場合、上記に加えて集中治療給付金をお支払いするご契約があります。※集中治療給付金は1回の入院に対して1回のお支払いを限度とします。

ご注意① 1回の入院とみなす場合

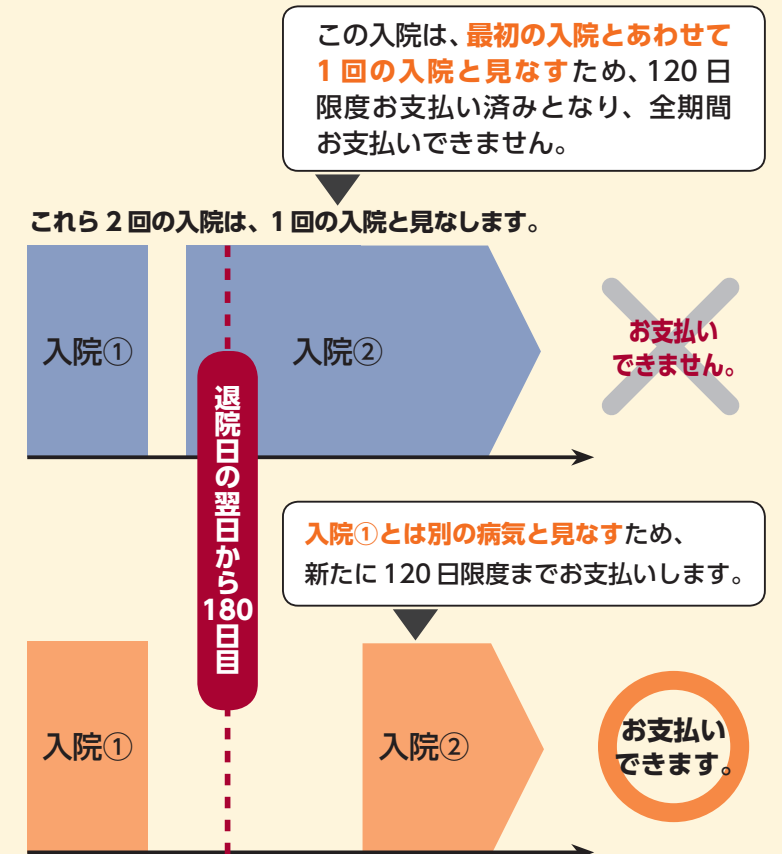
2回以上ご入院された場合、下記のようなケースでは**1回の入院とみなします**。

※1回の入院のお支払限度日数が120日型にご加入の場合

お支払いできない場合

病気により**120日以上**入院後、退院日の翌日から数えて**180日以内**に、同じ病気で再入院した場合。

※**同じ病気**で2回以上の入院をされた場合でも、入院と入院の間が180日以内であれば、1回の入院とみなします。



お支払いできる場合

病気により**120日以上**入院後、退院日の翌日から数えて**180日経過した後**に、同じ病気で再入院した場合。

ご注意② お支払いの対象とならない入院

全てのご入院がお支払いの対象とはなりません。
下記のようなケースでのご入院は**お支払いの対象とはなりません**のでご注意ください。



4

手術・放射線治療を受けられた場合
(手術・放射線治療給付金)

手術給付金付疾病入院特約等が付加されている場合など、手術や放射線治療を保障の対象とすご契約にご加入されている場合に限りま。



手術・放射線治療を受けられた場合、手術・放射線治療給付金をお支払いいたします。
手術・放射線治療給付金のお支払いタイプには大きく分けて2つの種類があります。

①公的医療保険制度連動タイプ

疾病、不慮の事故または不慮の事故以外による外因により公的医療保険制度における医科診療報酬点数表^(注1)に手術料または放射線治療料の算定対象として列挙されている診療行為を、治療を目的として病院または診療所において受けられた場合お支払いいたします。

- ※ 医科診療報酬点数表^(注1)において、「一連の治療過程で複数回実施しても手術料が1回のみ算定される手術」を複数回受けられたときは、その手術に対して手術給付金が支払われることとなった直前の手術を受けられた日からその日を含めて60日以内に受けられた手術に対しては手術給付金をお支払いいたしません。
- ※ 公的医療保険制度における医科診療報酬点数表^(注1)に放射線治療料の算定対象として列挙されている放射線治療は、放射線量に関わらずお支払いいたします。
- ※ 放射線治療給付金のお支払事由に該当する放射線治療を複数回受けられたときは、放射線治療給付金が支払われることとなった直前の放射線治療を受けられた日から、その日を含めて60日以内に受けられた放射線治療に対しては給付金をお支払いいたしません。
- ※ 対象となる手術は変動いたしますので、ご契約時に対象となっていた手術であっても、手術を受けられた日現在において手術の対象外となっていた場合はお支払いできません。手術を受けられた日現在において、公的医療保険制度における医科診療報酬点数表^(注1)に手術料または放射線治療料の算定対象として列挙されていることがお支払いの条件になります。

公的医療保険制度における医科診療報酬点数表^(注1)に手術料の算定対象として列挙されている手術でも、約款の規定によりお支払いの対象とならない手術もございます。詳細は約款をご参照ください。

(注1) 歯科診療報酬点数表に手術料または放射線治療料の算定対象として列挙されている診療行為のうち医科診療報酬点数表においても手術料または放射線治療料の算定対象として列挙されている診療行為を含みます。

②お支払いの対象となる手術を約款で定めているタイプ

お支払いの対象となる手術をあらかじめ約款で定めています。詳細につきましては、約款でご確認ください。



その他のお支払いの対象となる手術

- 胃切除術
- 冠動脈バイパス術
- 人工肛門造設術
- 帝王切開術
- 子宮筋腫摘出術
- 内シャント作成術
- 網膜光凝固術
- 新生物に対する放射線治療(所定の放射線量を満たすもの)
- 胸腔ドレナージ
- 人工関節置換術
- 人工膝関節置換術
- 胆のう摘出術
- そけいヘルニア根治術
- 痔核根治術
- 子宮全摘術
- 椎間板ヘルニア切除術
- 白内障手術
- 大腸ポリープ切除術
- 人工骨頭置換術
- 下肢静脈瘤切除術

ご契約の時期や種類によっては、お支払いの対象となる手術の定義が全く異なります。したがって、上記の手術でもお支払いの対象とならない場合があります。

※ お支払いできる手術の中でも、60日に1回を限度とするものがあります(公的医療保険制度連動タイプとは定義が異なります)。

お支払い
できない
手術の代表例

扁桃腺摘出術／骨折・脱臼等の非観血的手術(徒手整復術)／抜釘術／植皮術(植皮面積が25cm²未満の場合)／乳腺腫瘍摘出術(良性の場合)／手指・足指の切断術／抜歯／軟部腫瘍摘出術(良性の場合)／外傷等による縫合・切開・デブリードマン／肛門周囲膿瘍切開術／子宮頸管ポリープ切除術／吸引分娩／下肢静脈瘤硬化療法／結膜・角膜・強膜縫合術／カテーテルによる薬剤注入／癌に対する動脈注入術／手指・足指の骨・関節観血手術もしくは手指・足指の筋・腱・靱帯観血手術／その他美容整形上の手術、疾病を直接の原因としない不妊手術、診断・検査(生検、腹腔鏡検査など)のための手術、吸引・穿刺などの処置、神経ブロックなど

※ ①のタイプ、②のタイプのほか、①・②いずれもお支払いするタイプのご契約があります。
※ 例示している手術は一例です。上記以外にもお支払い対象となる手術とならない手術があり、タイプやご契約により異なります。手術を受けられた場合は、いずれかのタイプのお支払いの対象となる可能性がご

ざいますので、医師に正式手術名・術式・部位や傷病名を確認されたうえで、弊社担当者またはコールセンターまでお問い合わせください。
※ 同時に2種類以上の手術を受けられた場合には、いずれか1つの種類についてのみお支払いいたします。

5

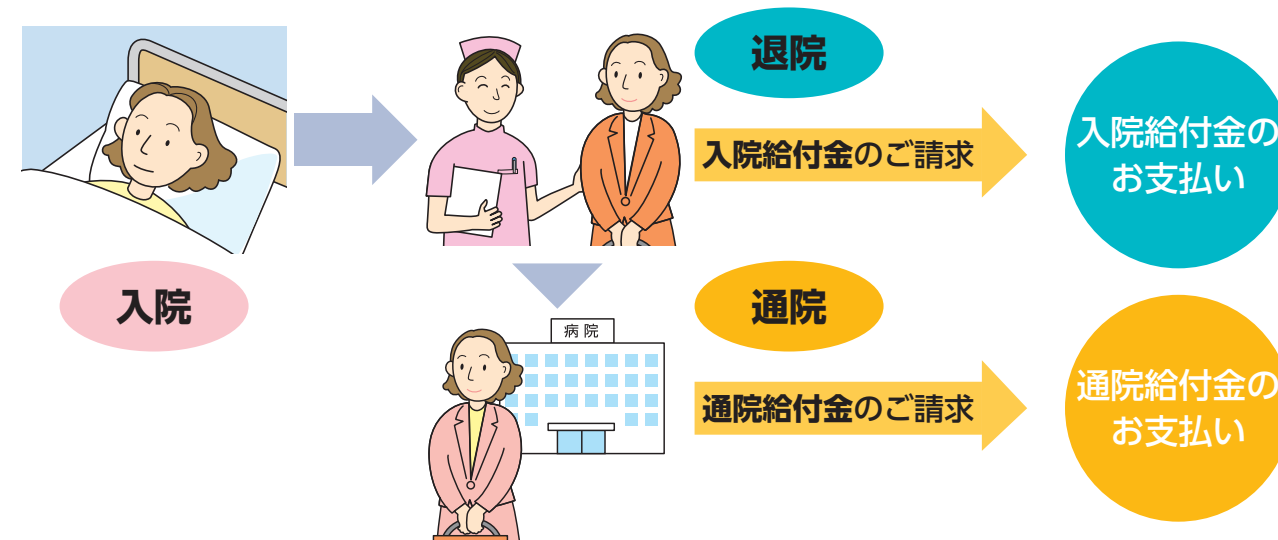
通院された場合 (通院給付金・災害通院給付金)

通院特約・災害通院特約が付加されている場合に限りです。



入院給付金が支払われる入院をされた後、
通院された場合は
通院給付金をお支払いいたします。

※入院関連特約と通院特約がともに付加されている場合に限りです。



※通院給付金のお支払いの対象となるのは、入院給付金の支払われることとなったご入院の原因となった傷病の治療を目的とした通院であることが条件です。
※通院給付金は、退院日の翌日から120日以内の通院が対象となります。
※1回の入院に対する通院についての支払限度日数は30日分です。
※同日に2回以上通院された場合は、1回の通院とみなして1日分をお支払いいたします。
※入院給付金のお支払いの対象となる日に通院されたときは、その通院に対する通院給付金はお支払いいたしません。
※接骨院(整骨院)への通院は、四肢における骨折、脱臼、捻挫または打撲に関し治療を受けられた場合以外はお支払いの対象とはなりません。

これらの通院はお支払いの対象とはなりませんのでご注意ください。



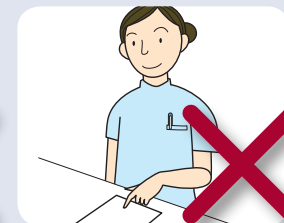
美容上の処置による
通院



治療を主たる目的と
しない診断のための
検査による通院



治療を伴わない薬剤・
治療材料の購入・受取
のみの通院

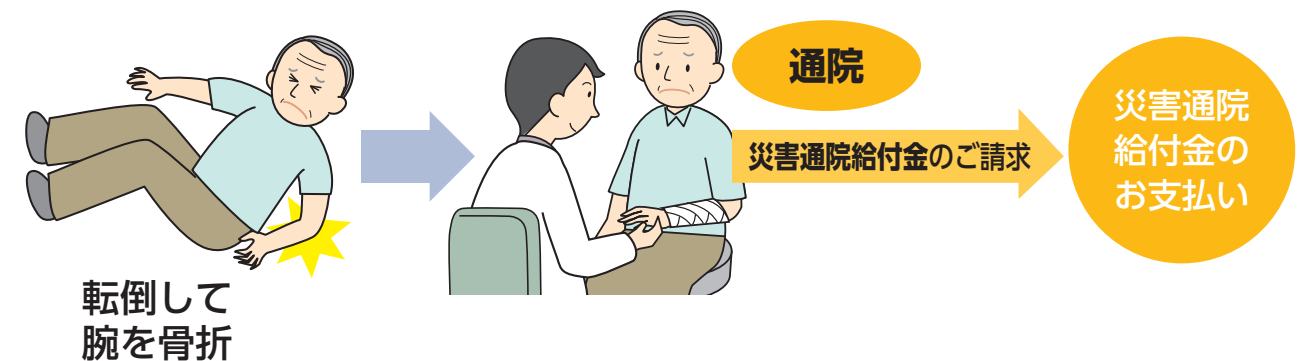


診断書を受け取る
ためだけの通院

不慮の事故により怪我をされ
通院された場合は
災害通院給付金をお支払いいたします。

※災害通院特約が付加されている場合に限りです。

※通院給付金とは異なり、入院をされたか否かはお支払いの条件にはなりません。



※災害通院給付金のお支払いの対象となるのは、不慮の事故を原因とした怪我の治療を目的とした通院であることが条件です(不慮の事故とは、急激かつ偶発的な外来の事故をいいます。詳細は約款でご確認ください)。
※災害通院給付金は、不慮の事故の日からその日を含めて180日以内の通院がお支払いの対象となります。
※同一の不慮の事故による通院についての支払限度日数は90日分です。
※同日に2回以上通院された場合は、1回の通院とみなして1日分をお支払いいたします。

特に以下の3つは、

**不慮の事故を原因とした怪我の治療を目的とした通院であっても、
お支払いの対象とならない典型的なケースですご注意ください。**

※平常の生活または業務に従事することに支障がない程度になおったとき
以降の通院は、お支払いの対象とはなりません。

※頸部症候群(いわゆる「むちうち症」)または腰痛で他覚症状のない場合は、お支
払いの対象とはなりません。

※接骨院(整骨院)への通院は、四肢における骨折、脱臼、捻挫または打撲に関し
治療を受けられた場合以外はお支払いの対象とはなりません。

6

約款に定める重度疾病に罹患された場合

(重度疾病保険金・給付金)

重度疾病保障特約が付加されている場合、もしくは医療保険ドクターマニユにご加入されている場合に限りします。

下記の 1 ～ 8 のいずれかに該当した場合は、

- **重度疾病保険金 (給付金) をお支払いいたします。**

※入院給付金日額の100倍の金額をお支払いいたします。ただし、お支払限度は1回です。
※ご契約が医療保険ドクターマニユで保険料払込期間中に該当した場合は、以後の保険料の払込が免除となります。

お支払いの対象となる事由は以下の通りです。

1	ガン	契約（特約）の責任開始期からその日を含めて90日を経過した翌日以後に、初めてガンの診断確定を受けられた場合 ※上皮内ガン、および皮膚の悪性黒色腫以外の皮膚ガンはお支払いの対象とはなりません。
2	急性心筋梗塞	責任開始期以後の疾病を原因として急性心筋梗塞を発病し、初めて医師の診療を受けた日からその日を含めて60日以上、労働制限の必要があると医師によって診断された場合
3	脳卒中	責任開始期以後の疾病を原因として脳卒中を発病し、初めて医師の診療を受けた日からその日を含めて60日以上、言語障害、運動失調、麻痺などの他覚的な神経学的後遺症が継続したと医師によって診断された場合 ※脳卒中とは、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞のことをいいます。
4	重度の糖尿病	初診日が責任開始期以後の疾病を原因として糖尿病に該当したと医師に診断され、一定の病状に至ったと認められる約款に定める所定の状態になった場合
5	慢性腎不全	初診日が責任開始期以後の疾病を原因として初めて慢性腎不全に罹患したと医師に診断され、その治療を目的として医師の指示により永続的に人工透析療法を開始した場合
6	肝硬変	初診日が責任開始期以後の疾病を原因として初めて肝硬変に罹患したと医師に診断された場合 ※所定の診断基準に基づき医師が認めた場合に限りします。
7	慢性膵炎	初診日が責任開始期以後の疾病を原因として初めて慢性膵炎に罹患したと医師に診断された場合 ※所定の診断基準に基づき医師が認めた場合に限りします。
8	移植術	責任開始期以後に発病した疾病を直接の原因とし、「心臓、肺、肝臓、膵臓、小腸、腎臓、骨髄」の移植術を受けた場合 ※被保険者が受容者の場合に限りします。

※上記の 1 ～ 8 のお支払いの対象となる事由は、お客様により分かりやすくご理解いただけるよう、簡易に記載しております。各事由の詳細は、約款をご参照ください。
※重度疾病保険金・重度疾病給付金のご請求に際しては、専用の診断書をご提出いただきます。（一部のケースにおいては通常の弊社診断書でご請求が可能です。）

7

ガン・急性心筋梗塞・脳卒中になられた場合


(特定疾病保険金・特定疾病月払給付金)

特定疾病保障特約・特定疾病収入保障特約が付加されている場合、もしくは特定疾病保障定期保険・特定疾病保障終身保険にご加入されている場合に限りします。

ガン・急性心筋梗塞・脳卒中の3大疾病になられ、下記の条件を満たした場合、**特定疾病保険金もしくは特定疾病月払給付金をお支払いいたします。**

お支払いの対象となる条件は以下の通りです。


ガン



以下を全て満たす場合に、お支払いの対象となります。

- 契約（特約）の責任開始期からその日を含めて 90 日を経過した翌日以後に、初めてガンの診断確定を受けられた場合。
- 診断確定されたガンが、上皮内ガンおよび皮膚の悪性黒色腫以外の皮膚ガンでない場合。


急性心筋梗塞



以下の場合に、お支払いの対象となります。

- 急性心筋梗塞を発病され、初めて医師の診療を受けられた日からその日を含めて 60 日以上、労働制限の必要がある状態が継続したと医師によって診断された場合。
- ※ 診断病名が狭心症、陳旧性心筋梗塞、冠動脈硬化症などの場合は、お支払いの対象にはなりません。

脳卒中



以下の場合に、お支払いの対象となります。

- 脳卒中を発病され、初めて医師の診療を受けられた日からその日を含めて 60 日以上、言語障害、運動失調、麻痺等の他覚的な神経学的後遺症が継続したと医師によって診断された場合。
- ※ 脳卒中とは、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞のことをいいます。

8

ガンになられた場合 (ガン診断給付金・ガン診断一時金)

ガン診断給付金はガン診断給付特約が付加されている場合に限り、
ガン診断一時金はガン診断一時金特約が付加されている場合に限り。

ガン責任開始日以後に、
初めてガンの診断確定を受けられた場合。

ガン診断給付金・ガン診断一時金をお支払いいたします。

- ※「ガン責任開始日」とは、この特約の責任開始期の属する日からその日を含めて90日を経過した翌日をいいます。
- ※上皮内ガンおよび皮膚の悪性黒色腫以外の皮膚ガンも保障の対象となります。
- ※ガン診断給付金は2回以上お支払対象となりますが、ご契約された時期によりお支払事由およびお支払額の定義が異なりますので、詳細は約款をご参照ください。
- ※ガン診断一時金は1回限りのお支払となります。

9

抗ガン剤治療を受けられた場合 (抗ガン剤治療給付金)

抗ガン剤治療特約が付加されている場合に限り。

ガン責任開始日以後に、初めてガンの診断確定を受けられ、
約款に定める所定の抗ガン剤治療を受けられた場合。

**お支払事由に該当した日の属する月ごとに
抗ガン剤治療給付金をお支払いいたします。**

- ※「ガン責任開始日」とは、この特約の責任開始期の属する日からその日を含めて90日を経過した翌日をいいます。
- ※対象となる抗ガン剤の詳細は約款をご参照ください。
- ※同一の月に、お支払事由に該当する日が2回以上あるときは、その月の最初のお支払事由の該当日に支払事由が生じたものとし、この特約の保険期間中を通算して60月を支払限度とします。

10

先進医療による療養を受けられた場合 (先進医療給付金)

先進医療給付金特則・先進医療特約が付加されている場合に限り。

疾病、不慮の事故または不慮の事故以外の
外因により先進医療による療養を受けられた場合。

先進医療にかかる技術料相当額をお支払いいたします。

- ※先進医療とは、厚生労働大臣が定める先進医療(先進医療ごとに厚生労働大臣が定める施設基準に適合する病院または診療所において行われるもの)をいいます。
- ※対象となる先進医療は変動しますので、ご契約時に対象となっていた医療技術であっても受療された日現在において先進医療の対象外となっていた場合は、お支払いできません。受療された日現在において先進医療に認定されていることがお支払いの条件になります。
- ※先進医療給付金のお支払額の通算が2,000万円に達した場合には、この特則もしくは特約は消滅します。
- ※先進医療給付金に加えて、先進医療見舞給付金をお支払いするご契約があります。
- ※先進医療見舞給付金額は療養1回につき5万円です。同一の先進医療において複数回にわたって一連の療養を受けられた場合、それらの一連の療養を1回の療養とみなし、先進医療見舞給付金は1回のお支払いとなります。

11

約款に定める要介護状態になられた場合 (介護一時金)

介護保障特約が付加されている場合に限り。

疾病または傷害を原因として、公的介護保険制度による要介護認定を受け、
要介護2以上に該当していると認定され、その要介護認定の効力が生じた場合。

介護一時金をお支払いいたします。

- ※「要介護認定の効力」とは介護保険法における効力のことをいい、要介護認定はその申請のあった日にさかのぼってその効力を生じます。

指定代理請求特約について

特別な事情により被保険者の方が保険金等※¹をご自身で請求できない場合、

指定代理請求人が被保険者に代わり請求できます

※ 1 保険金等：被保険者が受取人となっている保険金・給付金および年金をいいます。被保険者と契約者が同一の場合は、保険料（マニフレックス、マニユメッド、マニusstップの場合はその被保険者の特約保険料）の払込免除を含みます。（以下「保険金等」といいます）



1
事故や病気などで
寝たきり状態となり
意思表示ができない場合



2
被保険者が「ガン」などの
傷病名を医師から
告知されていない場合



3
被保険者の余命が6か月以内と
判断され、被保険者がその事実を
知らない場合

1.特約の内容について

被保険者が受取人になっている保険金等を、被保険者ご自身が請求できない特別な事情があるときに、あらかじめ指定された「指定代理請求人」がその被保険者に代わって請求することができる特約です。

（ご契約者様にご負担いただく保険料はありません。）

2.指定代理請求人について

指定代理請求人はご契約者があらかじめ指定します※²。ご契約者は、被保険者※³の同意を得て、その被保険者について1人の「指定代理請求人」を、次の範囲で指定することができます。

被保険者の
戸籍上の配偶者

被保険者と同居または
生計を一にしている
被保険者の3親等内の親族

被保険者の直系血族

※² 年金・月払給付金をお支払中のご契約については、年金・月払給付金の受取人が指定してください。

※³ マニフレックス・マニユメッド・マニusstップのご契約の場合、主契約・各特約の被保険者のうち指定代理請求特約をご利用になる被保険者、その他のご契約の場合は主契約の被保険者となります。

I ご注意事項

- 指定代理請求人からのご請求により保険金等をお支払いした場合、その後に被保険者様からご請求を受けても当社は重複して保険金等のお支払はいたしません。
- ご契約者が法人の場合は、指定代理請求特約をご利用いただけません。

II 被保険者が保険金等を請求できない特別な事情とは、つぎの場合をいいます

- 傷害または疾病により、保険金等を請求する意思表示ができない場合
- 傷病名の告知を受けていない場合
- その他上記に準じた状態の場合

III つぎの場合、指定代理請求人として保険金等を請求することはできません

- 指定代理請求人が、故意に保険金等の支払事由（保険料の払込免除事由を含みます）を生じさせた場合
- 指定代理請求人が、故意に被保険者を保険金等の請求ができない上記Ⅱの1または3の状態に該当させた場合
- 保険金等の請求時に、指定代理請求人の指定範囲の要件を満たさなくなった場合

高度障害保険金（給付金）について

被保険者様が疾病または不慮の事故により以下のような状態に該当する場合には高度障害保険金（給付金）のお支払いの対象となる可能性があります。担当者、またはコールセンターまでご照会ください。

- 脳卒中等の疾病または不慮の事故により終身常に介護を要する状態（寝たきり状態）となり、回復の見込みがない場合。
- 糖尿病等を原因とする疾病または不慮の事故により両眼の視力を喪失し、回復の見込みがない場合。
- 糖尿病等を原因とする疾病または不慮の事故により両足を切断した場合。
- 喉頭癌等の疾病により喉頭を全摘出した場合。

約款に定義されている高度障害に該当するケースとは…

両眼の視力を全く永久に失ったもの

言語またはそしゃくの機能を全く永久に失ったもの

中枢神経系・精神または胸腹部臓器に著しい障害を残し、終身常に介護を要するもの

両上肢とも、手関節以上で失ったかまたはその用を全く永久に失ったもの

両下肢とも、足関節以上で失ったかまたはその用を全く永久に失ったもの

1上肢を手関節以上で失い、かつ、1下肢を足関節以上で失ったかまたはその用を全く永久に失ったもの

1上肢の用を全く永久に失い、かつ、1下肢を足関節以上で失ったもの

告知義務違反による契約解除と保険金・給付金のお支払いについて

「告知義務」とは約款で以下のように定めています。

会社が、保険契約（特約）の締結または復活などの際、
会社所定の書面で告知を求めた事項について、
保険契約者または被保険者は、その書面により告知することを要します。

具体的事例で見てみましょう。



事例1

ご契約加入前の「肝硬変」での通院について
正しく告知せずに加入し、ご加入1年後に
「肝ガン」で亡くなられた場合。

肝硬変
で通院

ご契約加入
肝硬変での
通院の告知
なし

1年経過

肝ガン
で死亡

お支払い
できません。

正しい告知をせずにご加入された場合、告知義務違反としてご契約は解除となり、告知のなかった「肝硬変」と亡くなられた原因の「肝ガン」は**因果関係があるので**、死亡保険金は**お支払いできません**。

事例2

ご契約加入前の「胃潰瘍」での通院について
正しく告知せずに加入し、ご加入1年後に
「脳梗塞」で亡くなられた場合。

胃潰瘍
で通院

ご契約加入
胃潰瘍での
通院の告知
なし

1年経過

脳梗塞
で死亡

お支払い
できます。

告知のなかった「胃潰瘍」と亡くなられた原因の「脳梗塞」は**因果関係がないので**、死亡保険金は**お支払いいたします**。

※上記事例2で、死亡ではなく入院された場合は、医療給付金は「胃潰瘍」と「脳梗塞」は因果関係がないのでお支払いいたしますが、ご契約は告知義務違反により解除となります（契約解除の場合は解約返戻金相当額をお支払いいたします）。

保険金・給付金の請求に関するQ&A

入院中でも
請求は
できますか？

はい、可能です。

入院中にご請求される場合は、引き続きのご入院のご請求をお忘れにならないようお願いいたします（その際は再度診断書の取得が必要です）。
また、退院特約が付加されている場合、退院の際に退院給付金のお支払いの対象となる場合もありますので、ご注意ください。

日帰りで手術を
受けましたが、
手術給付金の
請求はできますか？

はい、可能です。

手術給付金は入院の有無に関わらず、お支払いの対象となる手術であれば、ご請求いただけます。

診断書を取得するのに
お金がかかるのですが、
診断書なしで請求する
ことはできないのですか？

入院・通院・災害通院・退院・長期療養給付金などのご請求では、
一定の条件を満たせば診断書なしでご請求が可能です。

ご請求される場合は、弊社担当者またはコールセンターまでお問い合わせください。
なお、手術給付金のご請求の場合は必ず診断書が必要となります。

請求をしてから
支払われるまでに、
どれくらいの日数か
かるのですか？

ご請求書類一式が弊社に到着し、書類不備がない場合は、通常5営業日以内に支払処理をいたします（支払処理から口座に着金するまでに2～3日要します）。もし5営業日以内に支払処理ができなかった場合は、所定の遅延利息をお支払いいたします。ただし、ご請求内容により事実確認を行う場合もあります。その場合は、約1ヶ月程度の時間を要しますので、ご了承くださいませよう願いたします。

入院給付金請求用チェックシート

ご請求書類を提出される前にご確認ください。

1 今回ご請求いただいた給付金の他にも給付金をお支払いできる可能性があります。
是非とも下記それぞれについてご確認ください。

チェック 他にマニユライフの保険契約はございませんか？
特約が付加されている契約であれば、お支払いの対象となる可能性があります。

チェック 今回入院の前後に他の病院に入院されたことはありませんか？
転院・再入院の場合、お支払いの対象となる可能性があります。

チェック 手術・放射線治療を受けられたことはありませんか？
診断書の所定欄に手術名や放射線治療を受けられたことが記載されている場合、お支払いの対象となる可能性があります。

チェック 入院中のご請求ではありませんか？
入院中のご請求の場合、退院日までお支払いの対象となる可能性があります。

2 保険証券をご覧になり付加されている特約をご確認ください。

チェック ご契約に通院特約が付加されているお客様は…
退院後に同じ病名で通院された場合、**通院給付金**のお支払いの対象となる可能性があります。

チェック ご契約に退院特約が付加されているお客様は…
今回が入院中のご請求の場合、退院時に**退院給付金**のお支払いの対象となる可能性があります。

チェック ご契約に特定損傷特約が付加されているお客様は…
骨折・関節脱臼・腱の断裂をされた場合、**特定損傷給付金**のお支払いの対象となる可能性があります。

チェック ご契約に特定の疾病などに対して保障する特約が付加されているお客様は…
ガン・急性心筋梗塞・脳卒中による入院である場合など、ご病状により特定疾病保険金などのお支払いの対象となる可能性があります。

3 その他・下記のような場合はご照会下さい。

「要介護状態」「身体障害の状態」で回復の見込みがない場合には…

高度障害保険金(給付金)・障害給付金のお支払いの対象となる可能性があります。

●高度障害状態に該当するケースとは … 終身常に介護を要するとき 両眼の視力を失ったとき 他
高度障害状態に該当するケースの詳細は約款に記載されています。

※詳しくは15ページをご覧ください。

災害通院給付金請求用チェックシート

ご請求書類を提出される前にご確認ください。

ご注意 下記のような場合は災害通院給付金のお支払いの対象とはなりませんので
ご注意ください。

不慮の事故以外の原因による通院はお支払いの対象とはなりません。
※不慮の事故とは急激かつ偶発な外来の事故のことをいいます。

平常の生活または業務に従事することに支障がない程度に
なおった日より後の通院についてはお支払いの対象とはなりません。

頸部症候群(いわゆる「むちうち症」)または腰痛で他覚症状が
ない場合はお支払いの対象とはなりません。

接骨院(整骨院)への通院は、四肢における骨折、脱臼、捻挫または
打撲に関し治療を受けられた場合以外はお支払いの対象とはなりません。

**5.通院された場合
の10ページを
ご覧ください。**

1 今回ご請求いただいた給付金の他にも給付金をお支払いできる可能性があります。
是非とも下記それぞれについてご確認ください。

チェック 他にマニユライフの保険契約はございませんか？
災害通院特約が付加されている契約であれば、お支払いの対象となる可能性があります。

チェック 今回通院の前後に他の医療機関に通院されたことはありませんか？
転院等されている場合、お支払いの対象となる可能性があります。

チェック 手術を受けられたことはありませんか？
証明書の所定欄に手術名が記載されている場合、手術給付金付疾病入院特約が付加されている契約で
あれば、お支払いの対象となる可能性があります。

チェック 通院中のご請求ではありませんか？
通院中のご請求の場合、なおった日までの通院についてもお支払いの対象となる可能性があります。

2 保険証券をご覧になり付加されている特約をご確認ください。

チェック ご契約に特定損傷特約が付加されているお客様は…
骨折・関節脱臼・腱の断裂をされた場合、**特定損傷給付金**のお支払いの対象となる可能性があります。

＜お問い合わせ先＞

マニユライフ生命コールセンター

TEL 0120-063-730

受付時間 月～金曜日 9時～17時(祝日および12月30日～1月3日を除く。)

上記チェック項目にひとつでも該当する項目がある場合には、
担当職員または右記にご連絡をお願いいたします。